

課題番号：汚染水-102

課題名	廃炉プロセス「汚染水対策」 検討対象「現状把握」 課題「地下・建屋の現状把握」	時間軸情報	汚染水対策	1	2		
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Preparation		燃料デブリ取り出し				
ニーズ	望ましい状態とその理由		PCV/RPV/建屋の解体				
			輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
			(参考) 関連する研究課題				
1	地下水挙動・全体像を把握したい	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、山側から海側に流れている地下水が、原子炉建屋等に流れ込み、建屋内等に溜まっている放射性物質を含む水と混ざることなどで汚染水が増加している。汚染源を「取り除く」、汚染源に水を「近づけない」、汚染水を「漏らさない」の3つの基本方針にそって、地下水を安定的に制御するための、重層的な汚染水対策が進められている。 ●地下水挙動やその全体像を把握することができれば、3つの基本方針に基づく重層的な汚染水対策をより実効的に進めることが可能となるため、地下水挙動やその全体像を把握することが望まれる。 	【実施されている研究課題】 H31年度英知「化学計測技術とインフォマティクスを融合したデブリ性状把握手法の開発とタイアップ型人材育成」 H31年度英知「微生物生態系による原子炉内物体の腐食・変質に関する評価研究」 【検討されている研究課題】 特になし				
2	建屋流入箇所を把握したい。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、山側から海側に流れている地下水が、原子炉建屋等に流れ込み、建屋内等に溜まっている放射性物質を含む水と混ざることなどで汚染水が増加しているため、建屋への流入箇所を把握することが望ましい。 ●ただし、建屋周辺は高線量であるため、調査が容易ではないという課題が存在する。 	【実施されている研究課題】 H31年度英知「化学計測技術とインフォマティクスを融合したデブリ性状把握手法の開発とタイアップ型人材育成」 【検討されている研究課題】 特になし				
関連する課題		汚染水-201「地下・建屋水位コントロール」 汚染水-202「構造物健全性確保」 汚染水-301「効率的・効果的な水処理」 輸保貯-102「廃棄物戦略」 処-303「敷地の除染、線量率低減」 処-304「各種管理区域解除」 共-1「遠隔技術」					